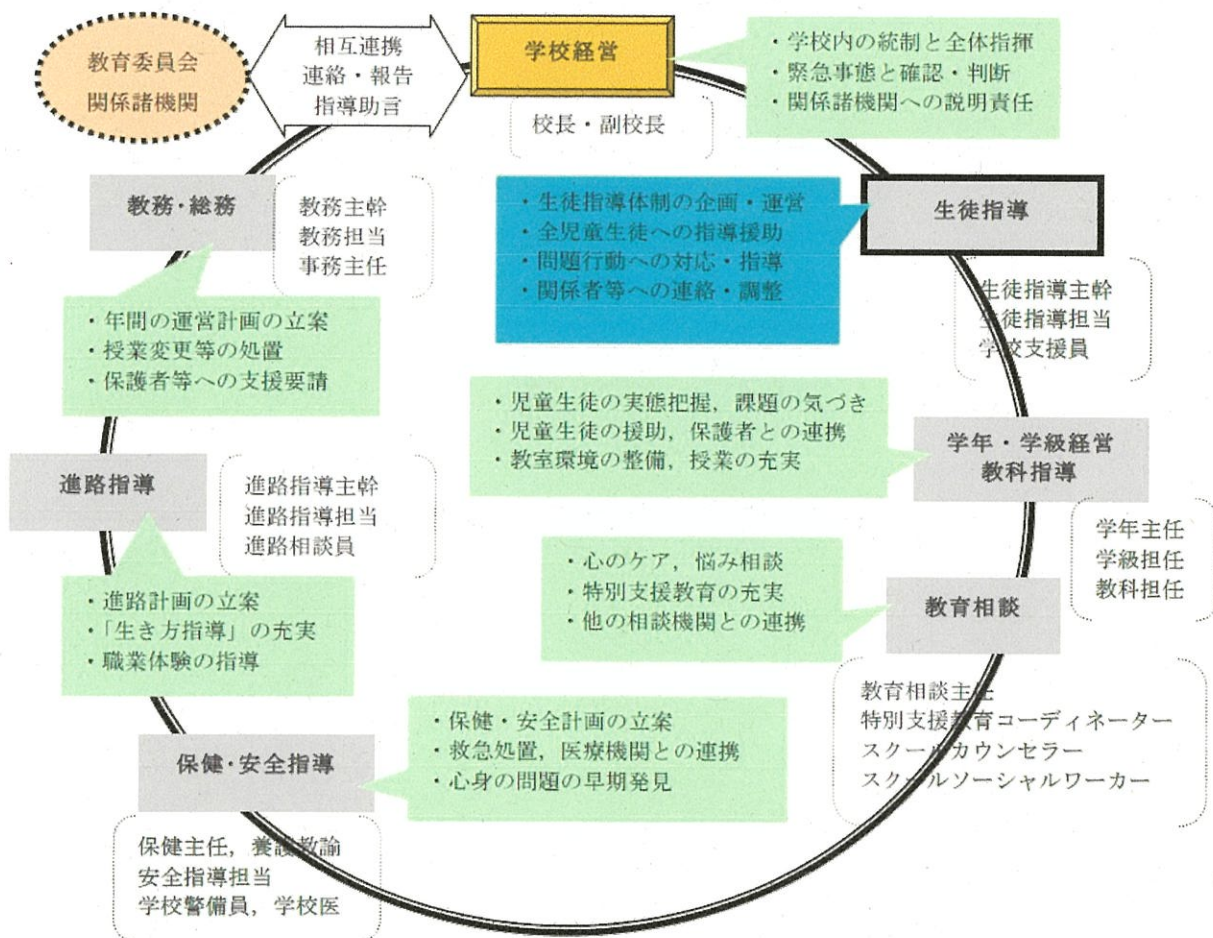


安来高等学校 すべての生徒への教育相談の充実について

教育相談組織の構想図(『生徒指導提要』(文部科学省平成22年3月 p83 より))

下の図は学校教育相談の実践的な動きができるように、教育相談と生徒指導など関連の深い分掌の位置関係を文部科学省が概念化したものです。これに従い安来高校でも学校全体ですべての生徒が過ごしやすい学校をめざしています。



学校教育相談とは(生徒指導との違いから)

・生徒指導とは(『生徒指導提要』から)

「生徒指導とは、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動のことです。すなわち、生徒指導は、すべての児童生徒それぞれの人格のよりよき発達を目指すとともに、学校生活がすべての児童生徒にとって有意義で興味深く、充実したものになることを目指す」ものです。

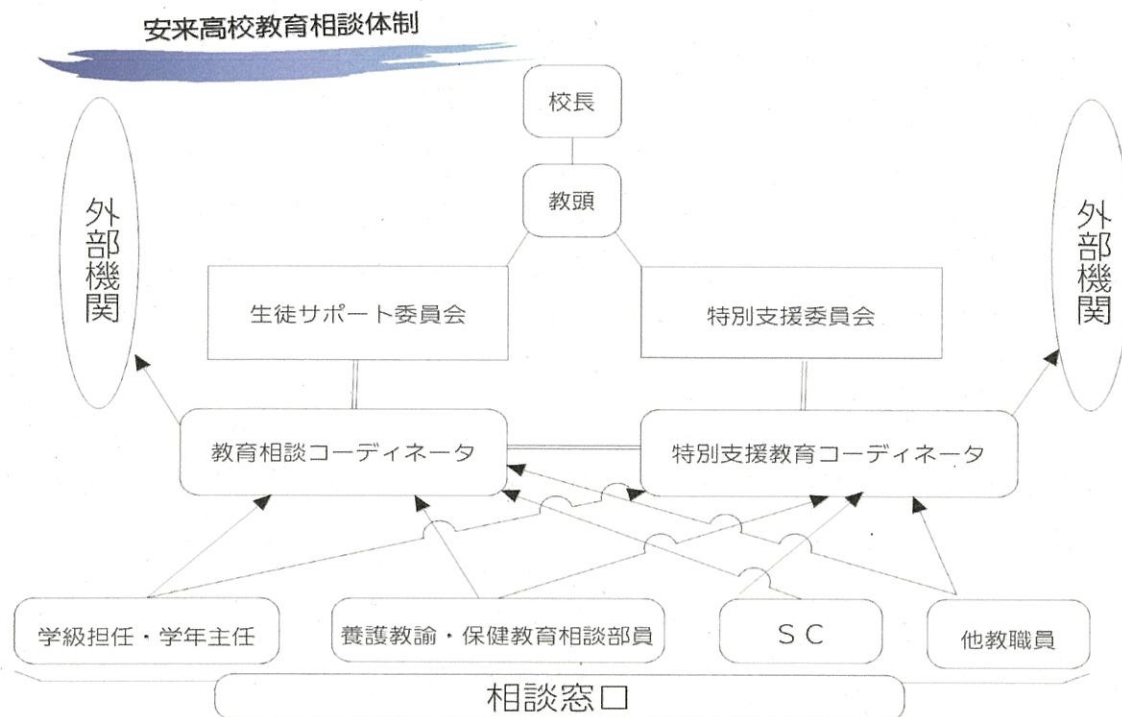
・学校教育相談とは(『中学校学習指導要領解説(特別活動編)』『生徒指導提要』から)

「教育相談は、一人一人の**生徒の教育上の問題**について、本人又はその親などに、その望ましいあり方を助言することである。その方法としては、1対1の相談活動に限定することなく、すべての教師が生徒に接するあらゆる機会をとらえ、あらゆる教育活動の実践の中に生かし、教育相談的な配慮をすることが大切である。」としています。

・教育相談と生徒指導の相違点としては、**教育相談は主に個に焦点を当て**、面接や演習を通して個の内面の変容を図ろうとするのに対して、**生徒指導は主に集団に焦点を当て**、行事や

特別活動などにおいて、集団としての成果や変容を目指し、結果として個の変容に至るところにあります。

安来高校教育相談体制



◇生徒サポート委員会

- ・校長、教頭、教務部長、生徒指導部長、人権・同和教育主任、学年主任、担任、教育相談コーディネータ、養護教諭、外部機関(スクールカウンセラー)がメンバーです。
- ・学期に1回開催しています。(計3回)
- ・委員会では、不登校や学校生活に支援(サポート)が必要と思われる生徒の情報交換と支援の方法を話し合い、カウンセラー等の助言を得ながら今後の支援方法を検討し、共通理解を図ります。(PDCA=計画、実行、評価、改善を繰り返しながらおこないます)

◇特別支援委員会

◇外部機関

スクールカウンセラー

- ・スクールカウンセラーは、教育相談コーディネータや養護教諭、学級担任と連携をとりながら、生徒・保護者を対象にカウンセリングを行い、また教師への助言をおこなっています。

教育センター
相談ダイヤル